

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：がんの分子機構の最先端～ショウジョウバエを用いた基礎研究 ILAS Seminar : Mechanism of cancer - Basic research using Drosophila genetics		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Biostudies Professor,IGAKI TATSUSHI Graduate School of Biostudies Associate Professor,KANDA HIROSHI Graduate School of Biostudies Assistant Professor,ENOMOTO MASATO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits		2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester		Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Tue.5
Classroom	Seminar room,1st floor, Faculty of Pharmaceutical Sciences Main Bldg. (Faculty of Medicine/Pharmaceutical Science Campus/ University Hospital Campus)				Language of instruction	Japanese
Keyword	がん / 細胞競合 / 遺伝学 / ショウジョウバエ / モデル生物					
[Overview and purpose of the course]						
遺伝子変異の蓄積によってがんが悪性化する機構や、細胞や組織が内因性に有する細胞競合によるがん抑制機構について、モデル生物であるショウジョウバエを用いた研究によって得られた最新の研究成果を解説する。また、授業中に与える課題に対して受講生自身が論文を検索・読解し、プレゼンテーション法を学ぶ。一連の準備について授業中に対話形式で指導・助言を行う。						
[Course objectives]						
1. がんが発生し悪性化する分子機構を説明できる。 2. 細胞競合の概念とその制御機構について、例を挙げながら説明できる。 3. 学術論文を検索・読解し、プレゼンテーションできる						
[Course schedule and contents)]						
本 ILAS セミナーでは、がんの悪性化や抑制を制御する分子機構に関する最新の3つの研究テーマ（下記2-4）について、それぞれ4-5週にわたり学生と討論する形式で解説する。また、受講生を少人数のグループに分け、2-4に関連する論文を受講生同士で読解し、プレゼンテーションを行う。授業はフィードバックを含め全15回行う 1. オリエンテーション、論文検索法 2. がんの発生機構（菅田） 3. 細胞間相互作用を介したがん抑制機構（榎本） 4. 細胞競合とがん抑制機構（井垣） 5. フィードバック						
[Course requirements]						
授業中に必要となる生物学の知識については授業内で適宜補足するので、高校で生物を履修していない学生でも授業についていくことは可能。						

Continue to ILASセミナー：がんの分子機構の最先端～ショウジョウバエを用いた基礎研究(2)						

[Evaluation methods and policy]

出席状況ならびに討論への積極的な参加（25点）、レポート（3テーマ、各25点）により評価する。特にレポートは講義内容のあらすじではなく、講義で得た着想に基づく独自のアイデアや自由な提案が含まれるものが望ましい。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業では指定の課題に関する論文を受講生が調査・読解し、少人数のグループごとにプレゼンテーションを作成し発表する。この際の質疑応答に対して評価を行うので、積極的に討論に参加すること。また、授業に関するレポートに基づいて成績評価を行うので注意すること。

[Other information (office hours, etc.)]

特別な予備知識は必要ないが、授業の進行に伴って必要となる知識については自主学習を求める。基礎研究に興味がある学生や、1回生であっても研究室で研究を行ってみたい学生の受講を特に推奨する。また、ノートパソコンを持っている場合は持参すること。